

はむら 市議会だより

No. 73

(通巻No. 182)

平成19年11月15日発行
羽村市議会
〒205-8601

東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス
<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



新しい顔を見せた羽村駅（西口）

第4回（9月）定例会

一般質問	市政を問う（15人の議員が一般質問）	2 ページ
市長提出議案	23件を可決・同意・認定	13 ページ
議員提出議案	3件の議案を可決	14 ページ
陳情	6件の陳情を審査	15 ページ
決算審査	平成18年度一般会計決算など7会計を認定	16 ページ

市政を問う

平成19年第4回羽村市議会(定例会)を、9月4日から28日までの25日間の会期で開きました。

開会初日には市長から、市政についての所信表明がありました。

9月4日、5日、6日には、15人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。

※質問・答弁については、内容を要約して掲載しています。

◇「男女共同参画社会」に対する取り組みについて
 ◇羽村市の歌・イメージソング・体操の活用について
 ◇スポーツセンターのジムマシーンについて

おおつか
 大塚あかね 議員

「男女共同参画社会」に対する取り組みについて
質問 条例制定に際し意見公募を行ったが、どのように活かされたのか。

市長 2名の方から25件の意見が寄せられたが、条例案でカバーできると判断したことから、条例案の変更は行っていない。

質問 羽村市役所内におけるポジティブアクションの導入について伺う。女性職員の管理職への登用推進をどのように図っているか。

市長 職員の昇任は選考試験を実施し、成績・能力を基本としているが、女性職員登用の数値目標の設定は難しい。

質問 男性職員の育児・介護休暇取得の数値目標は設定しているか。また、取得のための環境整備は。

市長 育児休業取得率は21年度目標値を10%以上としている。介護休暇は目標設定をしていない。今後も、制度の周知や情報提供を行う。

質問 市内企業に向けての支援策は。

市長 企業の自主的努力なので、啓発活動を実施していく。

質問 苦情処理機関の明確化・監視のあり方について。

とっている。監視については、男女共同参画推進会議においてチェックしている。

羽村市の歌・イメージソング・体操の活用について
質問 製作費・広報等に要した金額は。市民の認知度を今後高める考えは。

市長 歌・イメージソングに約1千700万円要した。市のガイドブックに掲載しているが、今後認知度を上げる方策を検討していく。

教育長 体操には158万9千円要した。

※スポーツセンターのジム機器整備については、教育長より安全性・利用需要を総合的に判断し計画的に行う、との答弁がありました。



▲男女共同参画のまちづくり推進事業

- ◇児童・生徒の学力向上対策について
- ◇わかりやすい財政情報の公開について
- ◇羽村堰上流の多摩川に、歩行者専用の橋を
- ◇行財政改革における民間活力の導入状況は

小宮 國暉 議員
こみや くにあき

児童・生徒の学力向上に向けた対策は

質問 学力テストとはどのような企画か。

教育長 名称は「児童・生徒の学力向上を図るための調査」で、都教育委員会が今年1月に実施した。

質問 学力向上に向けた対策の検討は。

教育長 都23区、26市中羽村市の順位は、小学校5年生は最下位、中学校2年生は下から8番目となり、課題解決の方策として8月末に各校が「授業改善推進プラン」を作成した。教員の授業力向上、資質能力を高め、学習サポート等の指導補助体制をより充実させ、学力の向上を図っていききたい。

わかりやすい財政情報の公開について

市の財政はどうかっているか、今後の財政見通しは、などわかりやすい財政情報を広く公開することが重要と考える。

質問 財政状況の公開をどう実施していくか。

市長 平成19年6月に「地方公共団体の財政健全化に関する法律」が公布された。今後、こうした法律改正等を考慮し、市民にとってわかりやすい財政情報を様々な角度から研究し公表したい。

質問 財政運営の基本をどこに置くのか。

市長 財政運営は経済状況の変化に対応し、福

祉の向上を図ることが大切であり、事業の選択と集中を図り、安定的な財政基盤の確立を目指すことを基本に取り組みたい。

羽村堰上流の多摩川に、郷土博物館と雨乞い街道を結ぶ歩行者専用の橋を

質問 歴史文化史跡、郷土博物館をめぐる広域的な周遊状の遊歩道として、健康づくり、観光振興、清流町内の人々との交流等、多くの付加価値が期待できる。多くの市民が望んでいる。

市長 堰上流の架橋は非常に難しいものと考え、実現可能かどうか検討したい。

※このほか「行財政改革における民間活力導入状況は」について質問しました。



▲財政白書と予算・決算書(財政課)

◇市内小中学校の学力アップについて
◇新潟県中越沖地震に関連して

中根 康雄 議員

◇障害福祉計画の推進について

川崎 明夫 議員

市内小中学校の学力アップについて

今年1月の都の学力テストで、49区市の中で羽村市の小学校が最下位、中学校が下から8番目であった。その時の受検者は現在小6と中3の大事な時期である。十分な対応が望まれる。

質問 テストの結果、市長・教育長は責任をどう感じ、今後の対応は。

教育長 より一層の学力向上に取り組む必要を感じる。学校の教育力と指導力を高め、児童・生徒の学力向上の実現に努めていく。

質問 学力・マナーの向上は至上課題である。具体的対策は。

教育長 各校の授業改善推進プランの具現化のため、指導・助言と少人数指導や習熟度別指導の工夫をする。教員の資質・能力向上と指導補助体制充実、家庭でのしつけの啓発にも取り組む。

質問 2学期制でも教員は忙しすぎると聞かぬか。

教育長 2学期制できめ細かな指導ができるようになった。多忙な校務等は工夫する。残業の主なものは翌日の授業準備や校務で、授業や指導に専念できないということはない。

質問 市内の学校で就学日等が異なるのはなぜか。その影響はどうか。

教育長 教育活動の実施状況から違い



▲小学校の教科書(一部)

質問 平成19年3月に策定した障害福祉計画に位置付けた「就労支援の促進」に向け、具体的な施策はどの程度進展しているか。

市長 就労継続支援等に取り組む事業者への支援等により、就労促進を図っていく。具体的には、新施設の建設、新たな事業の立ち上げなどを一体的に進めるための計画を策定したNPO法人障害者団体連絡会「そよかぜ」を支援していく。

質問 就労移行支援事業の実施主体や、実施年次、規模はどのように考えているか。

市長 既存の小規模作業所や社会福祉法人など多様な民間事業者に取り組んでいたところとするもので、「そよかぜ」ではこれら事業を小規模多機能型の一体事業として、就労継続支援60人、就労移行支援6人の規模で開始したいとしている。実施時期は国庫補助の進捗状況によって変わるため、確定して



▲羽村市と福生市が開設した地域生活支援センター「ハッピーウイング」

ない。

就労移行支援は、効果的な就労促進を目指すため、就労支援コーディネーターおよび生活支援コーディネーターを配置し、職業相談等の支援を行う事業の実施を検討している。

質問 今後の障害福祉施設の経営主体